

令和5年9月28日開催

## 総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について	.....	1
○地域再生計画 テーマ1 「地域資源をいかした観光誘客～市民が主役の観光地域づくり～」	.....	2
○地域再生計画 テーマ2 「雪が育んだ100年産業・製造業基盤強化事業」	.....	3
○地域再生計画 テーマ3 「雪室による地域活性化計画」	.....	4
○地域再生計画 テーマ4 「久比岐野改修による雪だるま高原活性化計画」	.....	5
○地域再生計画 テーマ5 「上越市まち・ひと・しごと創生推進計画」	.....	6

## ■ 地域再生計画

○地域再生計画は、地方公共団体が行う自主的かつ自立的な取組による地域経済の活性化や雇用機会の創出など、地域の活力の再生を総合的に推進するため、地域再生法に基づき内閣総理大臣が認定する計画。

## ■ 当市の取組

○平成28年から地域再生計画を作成し、国の交付金等を活用しながら、地域を挙げて地方創生に係る取組を展開。

## ■ 令和4年度に実施した地域再生計画に係る5つのテーマ

テーマ	全体計画	令和4年度				
	主な事業概要	主な事業概要	交付金対象総事業費	目標達成状況	主な評価	担当課等 (令和5年度)
【テーマ1】 地域資源をいかした観光誘客 ～市民が主役の観光地域づくり～ (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり実践「未来塾」開催</li> <li>・観光データの収集</li> <li>・「なおえつ うみまちアート」開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続講座開催</li> <li>・市内観光資源視察</li> <li>・歴史的旧家連携交流促進事業</li> </ul>	1,480千円	達成:1指標 未達成:3指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に関する情報の発信を「上越観光Navi」に一元化したことにより、閲覧数が増加した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各施設の入館者数等は減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力創造課</li> <li>・文化振興課</li> </ul>
【テーマ2】 雪が育んだ100年産業・製造業 基盤強化事業 (R2～R4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案型モデル支援事業</li> <li>・企業支援専門員の雇用</li> <li>・生産性向上支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案型モデル支援事業</li> <li>・企業支援専門員の雇用</li> </ul>	42,114千円	達成:1指標 未達成:3指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案型モデル支援事業は、支援により企業の付加価値額が向上した。</li> <li>・その他の指標は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた企業活動の停滞等により、目標値を達成できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業政策課</li> <li>・上越ものづくり振興センター</li> </ul>
【テーマ3】 雪室による地域活性化計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光対応型「雪中貯蔵施設」整備</li> <li>・備品購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学の実施</li> <li>・積極的な地場農産物の販売促進事業</li> </ul>	—	達成:1指標 未達成:2指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯蔵した農産物の販売額は増加した。</li> <li>・その他の指標は、新型コロナウイルス感染症やスキー場の利用者減少の影響を受け、目標値を達成できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村振興課</li> <li>・観光振興課</li> </ul>
【テーマ4】 久比岐野改修による雪だるま高原 活性化計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉の宿「久比岐野」改修整備</li> <li>・源泉湯ポンプ購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉の宿「久比岐野」における物販</li> <li>・観光施設等管理事業</li> </ul>	—	達成:0指標 未達成:3指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの指標も、新型コロナウイルス感染症や、機器の故障等の影響を受け、目標値を達成できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興課</li> </ul>
【テーマ5】 上越市まち・ひと・しごと創生推進 計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業版ふるさと納税(寄附対象:第2期総合戦略に基づく事業)</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付総額:17,100千円</li> <li>・寄附企業:5社</li> </ul>	達成:3指標 未達成:5指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代への愛着醸成や移住定住の支援等を図り、転入者数等の目標を達成した。</li> <li>・その他の目標値を達成できなかった指標は、その達成に向けて、若者・子育て世代にとって魅力的な仕事の創出や子育て環境の充実を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合政策課</li> </ul>

## ■ 背景・目標

- 市内には春日山城や高田城など、多種多様な地域資源が多く存在するが、合併により広域となった市域ゆえ地域間の連携が弱く、点在する魅力が繋がっていないなど、地域全体のポテンシャルの高さをいかしきれていない状況にある。
- そこで、本計画では、市民を含む様々な主体が観光の担い手となり、地区間の連携の意識を醸成しながら地域一丸となった観光地域づくりを行うことで、日常的な観光誘客の基礎となる環境を整えるとともに、様々な地域資源の付加価値を高めることで、観光入込客や観光消費の増加を図り、地域活性化を目指すものとする。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度（5年間）

※企業版ふるさと納税制度の活用により、計画期間を3年から5年に延長

### <総事業費>

88,082千円

### <事業概要>

- 観光地域づくり実践未来塾の開催(R2～R6)
- 観光データの収集(R2～R6)
- SNSを活用した市民による情報発信の促進(R2～R6)
- 地域資源連携交流促進事業(R2～R4)
- 「なおえつ うみまちアート」開催支援(R3)

### <企業版ふるさと納税制度の活用>

「なおえつ うみまちアート」開催支援（寄附額：14,300千円）

## ■ 令和4年度の事業 1,480千円

### ①観光地域づくり実践未来塾の開催 145千円

- ・観光地域づくり実践未来塾の連続講座を3回、市内観光資源視察を1回開催
- ・参加人数：第1回 28人、第2回 30人、第3回 31人、市内観光資源視察：10人
- ・参加者：観光事業者、宿泊事業者、飲食事業者、交通事業者、物販事業者など

### ②観光データの収集 726千円

- ・観光地点パラメータ調査を実施

### ③SNSを活用した市民による情報発信の促進 109千円

- ・「#上越もよう」の広報上越への掲載
- ・「#上越もよう」名刺カードの作成(5,000枚×2種類)
- ・上越観光Naviへ掲載するなど観光PR素材として活用

### ④歴史的旧家連携交流促進事業 500千円

- ・歴史的旧家4邸の連携事業（web・新聞・テレビ等を活用した広告宣伝事業、県内外の旅行者への営業活動）



<観光地域づくり実践未来塾の様子>



<「#上越もよう」名刺カード>



<新聞折り込みチラシ>

評価指標(KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和4年度)	実績値	目標値 (令和6年度)	
休日1日当たりの市民以外の市内滞在人口(年間平均)	23,754人 (平成30年度の実績を基に算出した令和元年度の見込値)	28,357人	【参考】 10,543人 (令和3年度)	32,574人	※令和4年度の実績値は10月下旬頃に判明 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの縮小・中止や人の動きに変化が生じており、観光客は減少している。 ・コロナ禍により変化した観光ニーズに対応すべく、当市を取り巻く観光動向を捉え、今後の観光施策を展開していく。
歴史的旧家の連携誘客事業の年間来場者数	2,483人 (令和元年度)	4,073人	3,025人 (令和4年度)	4,073人	【目標値の7割以上達成】 ・令和3年度に引き続き、歴史的旧家の一斉公開の開催回数を年3回として目標値の達成を目指したが、一斉公開とは別に多くの集客を見込んでいた秋のバスツアーの回数が減少したことが主な要因となり、目標値を下回った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が縮小しつつある社会情勢の中で、バスツアーの回数の回復や新たな企画による集客を図るため、関係各署への働きかけ等を行っていく。
上越観光Naviの総ページビュー数	1,009,687件 (平成30年度)	1,400,000件	2,730,879件 (令和4年度)	1,600,000件	【目標値を達成】 ・当市の「上越観光Navi」と上越観光コンベンション協会の「上越観光ネット」を統合したことにより、観光に関する情報の一元化が図られ、利便性が向上し、閲覧数の増加につながった。 ・引き続き、観光ニーズの変化を捉えながら、適時に効果的な情報発信を行う。
拠点施設の入館者数 (直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター、直江津屋台会館)	953,404人 (平成30年度)	982,500人	918,966人 (令和4年度)	982,500人	【目標値の7割以上達成】 ・新型コロナウイルス感染症の影響による市民の外出自粛傾向やイベントの縮小等により、目標値を下回った。 ・コロナ禍におけるイベントの開催の検討や、まちなかへの回遊を促進するような仕掛けづくりを商店街や市民団体と検討していく。

## ■ 背景・目標

- 市内の製造業の従業者数は、卸売業・小売業に次いで2番目に多く、中小企業での就業が多くを占めている。このことから、製造業における中小企業の安定化や成長促進が雇用の維持・拡大につながっていくものと考え。
- そこで、本計画では、地域経済を牽引し、高い経済波及効果をもたらすことが期待される地域の中核企業に対して集中的な支援を行うことで、安定的で魅力ある雇用の場の創出を図ることにより、若者の就職による人口流出のダム機能を果たすとともに、稼げる企業の増加を通じて、持続可能な経済社会の構築を目指す。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和4年度（3年間）

### <事業費>

144,684千円

### <事業概要>

- 提案型モデル支援事業(R2～R4)
- 地域中核企業認知度向上事業 (R2～R4)
- 企業支援専門員の雇用 (R2～R4)
- 生産性向上支援事業(R2～R4)

## ■ 令和4年度の事業 42,114千円

### ① 提案型モデル支援事業 38,467千円

- ・地域中核企業が行う新製品・新技術の開発等に対して、補助金を交付

交付先	事業内容
林ハ工業株式会社	調達DXの推進による現場作業員の負荷低減
三星工業株式会社	バクテリアセルロース製品の開発と事業化
有沢総業株式会社	不燃性FRP異形品の強度アップに向けた開発
マテ. カッパ-フ ロダ ケツ株式会社	外観検査工程を自動化できるAIシステムの開発

### ② 地域中核企業認知度向上事業

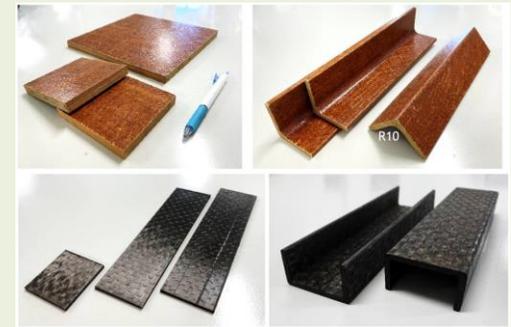
- ・高校の進路指導担当教諭を対象として、市内の製造業4社を見学

### ③ 企業支援専門員の雇用 3,647千円

- ・①の事業推進に資する技術や製品の情報収集・助言を実施

### ④ 生産性向上支援事業

- ・1件交付決定したが、計画どおりの実施が困難となったことから申請者が取下げ



<有沢総業株式会社 不燃性FRPの製品サンプル>

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前	目標値 (令和4年度)	実績値	
当市製造業全体での付加価値額	248,650百万円 (平成29年)	263,869百万円	234,463百万円 (令和2年)	【目標値の7割以上達成】 ※「当市製造業全体での付加価値額」の令和3年度実績値は今後公表予定 ・令和元年度末から令和2年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、企業活動が停滞したことが大きい。
当市製造業の常用従業者数	16,686人 (平成30年)	17,500人	16,008人 (令和4年)	・産・学・官や農商工の連携などにより、「新価値」の創造及びものづくりの高度化を推進し、地域産業の活性化を図っていく。
提案型モデル支援事業で支援した企業の付加価値額	100% (支援事業者の初年度(申請時)を基準)	109%	114% (令和4年度)	【目標値を達成】 ・対象企業自身の業績が好調であり、目標達成につながった。 ・今後は地域中核企業成長促進モデル支援事業補助金により支援した事業に対し、定期的に進捗状況を確認し、必要に応じて助言や専門機関等につなぎ、効果を高めていく。
地域中核企業認知度向上事業への参加者数	0人	60人	9人 (令和4年度)	【目標値の達成は5割未満】 ・地域中核企業認知度向上事業(市内の製造業者を訪問する事業)について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、高校の進路指導担当教諭のみを対象に規模を縮小して開催したことから、目標とする参加者数を下回った。 ・地域中核企業認知度向上事業は令和4年度で終了したことから、今後は、地域中核企業に特化せず、市内企業全般の認知度向上を目指し、高校生の企業見学ツアーや企業の出張説明会を実施していく(予算事業:市内企業雇用促進事業)。

## ■ 背景・目標

- 中山間地域では、農家の高齢化に伴う担い手不足のほか、農地が不整形であることや小規模であることなどの要因により、生産性が低くなるケースが多いことから、農産物の付加価値を高めるなどの取組によって安定的な収入確保と農業の担い手確保が必要となる。
- そこで、本計画では、道の駅「雪のふるさとやすづか」地内に雪室を整備し、雪中貯蔵を通じて農産物の付加価値の向上を図るとともに、直売やインターネット販売などの多様な手段によって販路を確保し、収入の向上を目指す。さらに、見学できる雪室とすることにより道の駅の魅力を高めて新たな交流やにぎわいの創出を図り、地域の活性化につなげるものとする。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度（5年間）

### <事業費>

108,128千円

### <事業概要>

- 観光対応型「雪中貯蔵施設」整備 (R2)
  - ・102,546千円 [地方創生拠点整備交付金]
- 備品購入費 (R2)
  - ・5,582千円 [地方創生推進交付金]

※雪中貯蔵施設を整備し、令和3年3月27日にオープン

### (関連事業)

- 中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業 (R2～R3、R4から積極的な地場農産物の販売促進事業に統合)
- 積極的な地場農産物の販売促進事業 (R2～R6)
- 越後田舎体験事業 (R2～R6)

### <施設概要>

- 所在地: 上越市安塚区榊田158番地  
(道の駅 雪のふるさとやすづか内)
- 施設名称: ユキノハコ(雪中貯蔵施設)
- 構造等: 木造2階
- 建築面積: 356.15㎡
- 延床面積: 432.31㎡  
(1階/346.14㎡・2階/86.17㎡)
- 主な施設: 貯蔵庫/75㎡ 貯雪室/76㎡

## ■ 令和4年度の事業

本計画の対象事業は、令和2年度で完了しているため、令和3年度以降は関連事業を実施しつつ、事業効果を見極めることとしている。

### 【関連事業】

- 施設で実施した事業
  - ・施設見学の実施(土、日、祝の午前11時と午後1時の1日2回ずつ)
- 積極的な地場農産物の販売促進事業
  - ・農業者等への豊富な支援経験を持つ専門家講師に加え、模範となる販促活動に取り組む市内農業者からも学ぶ連続講座の開催
  - ・農業者等が行う営業活動や広告宣伝の取組など、農林水産物等のマーケティング活動への支援
  - ・農産物等の販売強化に向けた研修会の開催など
- 越後田舎体験事業
  - ・教育旅行新規団体等の開拓に向けた商談会への参加
  - ・越後田舎体験推進協議会負担金など



<施設外観>



<「ユキノハコ」ロゴデザイン>



<雁木の回廊・パネル展示>



<見学ブリッジ>



<利用のご案内チラシ>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	
貯蔵した農産物の販売額	0千円 (令和元年度)	3,308千円	14,293千円	5,513千円	【目標値を達成】 ・引き続き、市内の農業者へ利用を呼び掛けるなどの取組により、施設利用実績及び貯蔵した農産物の販売額の増加につなげる。
雪中貯蔵施設の見学者数	0人 (令和元年度)	4,000人	588人	6,000人	【目標値の達成は5割未満】 ・新型コロナウイルス感染症の影響が緩和傾向にあり、越後田舎体験事業における児童、生徒の見学受入れが再開されたものの、コロナ禍前までの回復に至らなかったことで見学者数が伸び悩み、未達成となった。 ・引き続き、越後田舎体験で訪れた児童・生徒から見学していただけるよう取り組むほか、市内小中学校の環境学習での活用や道の駅でのイベントに合わせて見学会を開催するなど、施設見学者数の増加につなげていく。
道の駅「雪のふるさとやすづか」の年間入込客数	98,405人 (令和元年度)	110,005人	79,256人	115,405人	【目標値の7割以上達成】 ・雪中貯蔵施設の見学者数が当初の見込みよりも下回ったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響やスキー場の利用者減少の影響などもあり、目標値を達成できなかった。 ・目標値は未達成だが、令和3年度と比較して、2,927人増加している。引き続き、雪だるま物産館、榊田そば処、ユキノハコ3施設等との連携による相乗効果を図りながら、入込客数の増加につなげていく。

## ■ 背景・目標

- 安塚区の雪だるま高原一帯には、スキー場「キューピットバレイ」、宿泊施設「久比岐野」、日帰り温浴施設「雪の湯」があり、冬期間を主力とした通年観光の拠点となっていた。しかし、年々利用者数が減少していることに加えて、日帰り温浴施設「雪の湯」については、源泉の水位の低下や施設の老朽化が進んでいた。
- そこで、本計画では、宿泊施設「久比岐野」を日帰り温浴施設としても活用できるよう改修することにより、「雪の湯」に代わる機能を維持しつつ、日帰り客を対象にした飲食サービスや物販サービスを提供し、観光産業の振興と雇用の創出を目指すものである。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度（5年間）

### <事業費>

78,298千円

### <事業概要>

- 温泉の宿「久比岐野」改修整備（R2）
  - ・72,028千円 [地方創生拠点整備交付金]
- 源泉湯ポンプ購入（R2）
  - ・6,270千円 [地方創生推進交付金]

※宿泊施設の浴室を日帰り温浴施設として改修し、

令和2年12月13日から供用を開始

### (関連事業)

- 観光施設等管理事業（R2～R6）

### <施設概要>

- 所在地：上越市安塚区須川2352番地
- 施設名称：温泉の宿 久比岐野
- 構造等：2階建て（1階RC造、2階木造）
- 改修を行った建築面積：115.94㎡（うち増築分33.12㎡）
- 改修を行った延床面積：157.34㎡（1階41.4㎡、2階115.94㎡）

	改修前 延べ床面積	改修後 延べ床面積
浴室	33.12㎡	66.25㎡
うち浴槽	13.95㎡	33.12㎡
脱衣室	33.12㎡	49.69㎡

## ■ 令和4年度の事業

本計画の対象事業は、令和2年度で完了しているため、令和3年度以降は関連事業を実施しつつ、事業効果を見極めることとしている。

### 【関連事業】

- 施設で実施した事業
  - ・温泉の宿「久比岐野」における物販
- 観光施設等管理事業
  - ・雪だるま高原施設の指定管理委託料
  - ・指定管理者：株式会社 スマイルリゾート
  - ・指定管理の協定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日



<外観>



<浴槽>



<脱衣室>



<浴室>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	
「久比岐野」の日帰り利用者数	0人 (令和元年度)	14,000人	7,589人	18,000人	【目標値の5割以上達成】 ・源泉ポンプの故障により、4～6月の3か月間休館せざるを得なかったが、令和3年度に比べて371人の増加となった。引き続き、SNSを活用した情報発信を行うとともに、利用者の更なる増加に向け、個室休憩室を使用したプランの販売を開始する。
「久比岐野」の日中飲食サービス及び物販の売上額	0千円 (令和元年度)	7,000千円	466千円	9,000千円	【目標値の達成は5割未満】 ・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、黒字化が見込めなかったため、飲食サービスは夏休み期間のランチ限定で提供した。それ以外の期間は、物販のみで営業したため、目標値を達成できなかった。 ・今年度は、飲食サービスのイベント期間を設け、情報発信を強化するとともに、利用者のニーズを把握した物販サービスを行うことで売上額の増加につなげる。
雪だるま高原の来場者数	118,900人 (令和元年度)	121,900人	64,627人	123,900人	【目標値の5割以上達成】 ・スキー場においては、12月中旬の小雪に伴うオープン延期、10年に1度の寒波により利用者減少、新型コロナウイルス感染症の影響により一度キャンセルした学校のスキー授業が戻り切っていないことにより、目標値を達成できなかった。 ・目標値は未達成だが、令和3年度と比較して1,644人増加している。引き続き、観光ニーズの変化を見極めながら、グランピングの食事メニューの見直しや新たにペット同伴客室を設定することなどにより、来場者数の増加につなげる。

## ■ 背景・目標

- 企業版ふるさと納税は、これまで、地域再生計画に搭載された特定の事業のみが寄附対象であったが、令和2年度の制度改正に伴い、各自治体が策定する地方版総合戦略に基づく包括的な地域再生計画を作成することにより、地方版総合戦略に位置付けた地方創生に資する全ての事業を寄附対象とすることが可能になった。また、法人関係税の税額控除割合が、最大約6割から約9割に引き上げられた。
- こうした国の制度改正を踏まえ、市では第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第2期総合戦略」という。)に基づく包括的な地域再生計画を作成して制度を積極的に活用することで、市の財源を確保しつつ、第2期総合戦略に位置付けた事業を推進していく。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度(5年間)

### <寄附対象事業>

第2期総合戦略に基づく事業

- ・しごとづくり分野 [104事業]
- ・結婚・出産・子育て分野 [115事業]
- ・まちの活性化分野 [198事業]
- ・UIターンとまちの拠点性・担い手づくり分野 [33事業]

## ■ 令和4年度の成果

### <寄附を受けた取組>

- ① 保育園運営事業
- ② 五智交通公園管理事業
- ③ 若者活躍推進事業
- ④ 都市公園整備事業
- ⑤ 水族博物館うみがたりの魅力向上事業

### <企業名>

- ① 株式会社ウチダ和漢薬
- ② 南星運輸株式会社
- ③ エネクス電力株式会社
- ④ 株式会社C-mind
- ⑤ 阪神金属興業株式会社

### <寄附金額>

17,100千円



<五智交通公園のゴーカートの購入>



<水族博物館うみがたりの展示解説版の更新>

指標	評価指標(KPI)				評価
	事業開始前	目標値 (令和4年度)	実績値	目標値 (令和6年度)	
34歳以下の就職率	39.8% (平成30年度)	45.7%	36.6% (令和4年度)	45.7%	【目標値の7割以上達成】 ・国では、全国的な分析として、「求職者が応募する求人を含め、厳選する傾向や再就職のタイミングをみている傾向があった」としており、上越地域も同様の状況にあったと推測され、目標値を下回った。引き続き、関係機関と連携し、若者に対して市内企業の周知を図るとともに、若者社員の定着に向けた取組を実施していく。
合計特殊出生率	1.51 (平成30年)	1.68	【参考】 1.38 (令和3年)	1.68	※令和4年度の実績値は今後公表予定 ・引き続き、結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりを推進する。
休日滞在人口率	1.04 (平成30年)	1.04	1.06 (令和4年)	1.04	【目標値を達成】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの縮小・中止や人の動きに変化が生じており、観光客は減少している。 ・今後それらの影響や変化を踏まえつつ、市担当部署や関係者との情報共有・連携を図りながら、地域資源をいかした観光コンテンツづくりの支援や賑わいづくり等を推進していく。
転入者数	4,246人 (平成26年～平成30年の 平均値)	4,246人	4,370人 (令和4年)	4,246人	【目標値を達成】 ・当市では、10代後半から20代前半にかけての社会減が大きい状況を踏まえ、高校生の頃から地域に愛着を持ってもらい、将来的なUターンにつなげるような取組を引き続き推進するとともに、若者にとって魅力的な雇用を創出するため、IT企業等の誘致に取り組んでいく。 ・また、引き続き移住定住を支援する制度の活用呼びかけやインターネット広告などを活用した情報発信を行うこと等を通じて、県外からの移住者の増加を図っていく。
雇用の場が整っていると 感じる20代・30代の市民 の割合	42.2% (令和元年度)	42.2%	【参考】 35.2 (令和3年度)	42.2%	【目標値の7割以上達成】 ・商工会議所や市内金融機関等と連携し、若者や女性等の起業・創業を後押しするとともに、IT企業の誘致の強化や産業の活性化による所得水準の向上を図り、若者にとって魅力的な仕事の創出に取り組んでいく。
出産や子育てがしやすい と感じる20代・30代の 市民の割合	70.0% (令和元年度)	70.0%	【参考】 56.3 (令和3年度)	70.0%	【目標値の7割以上達成】 ・病気の子どもへの通院支援や保育料の軽減、新たな奨学金制度の創出などに取り組み、更なる子育て環境の充実を図っていく。
上越市を暮らしやすいと 感じる20代・30代の市民 の割合	77.6% (令和元年度)	77.6%	【参考】 76.1% (令和3年度)	77.6%	【目標値の7割以上達成】 ・若者・子育て世代にとって魅力的な仕事の創出や子育て環境の整備などに取り組むとともに、まちづくりへの参画や主体的な活動を後押しする取組の推進を図ることにより、若者・子育て世代の希望がかなう環境の整備を進めていく。
今後も上越市に住み続け たいと感じる20代・30 代の市民の割合	60.5% (令和元年度)	60.5%	【参考】 66.0% (令和3年度)	60.5%	【目標値を達成】 ・引き続き、結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりの推進など、若者にとって住み続けたいと感じられる環境を整えていくとともに、SNSを活用して、当市の魅力や子育て環境、仕事に関する情報発信に取り組んでいく。

※本計画においては、国が示す作成例にならない、第2期総合戦略の各政策分野における数値目標をKPIとして設定している。